

第九

特別演奏会 2023

指揮

広上淳一

[フレンド・オブ・JPO (芸術顧問)]



©山本倫子

指揮

小林研一郎

[桂冠名誉指揮者]



◆ 12月16日 日 17:00

横浜みなとみらいホール

[第 393 回横浜定期演奏会]

◆ 12月17日 月 14:00

サントリーホール

ソプラノ: 竹下みづ穂 アルト: 但馬由香

テノール: 工藤和真 バリトン: 池内 響

合唱: 東京音楽大学 (12/16)

日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/17)

ケルビーニ: 歌劇《アナクレオン》序曲

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》

チケット料金 (全席指定・消費税込)

S ¥9,000 A ¥7,500

B ¥7,000 C ¥6,000

Ys (25歳以下) ¥3,500

Gs (65歳以上) ¥6,000 (12/16 除く)

好評
発売中!

【日本フィル・サービスセンター】

☎ 03-5378-5911 (平日 10時~17時)

日本フィル e チケット

<https://eticket.japanphil.or.jp>

◆ 12月21日 木 19:00

横浜みなとみらいホール

◆ 12月22日 金 19:00

サントリーホール

◆ 12月25日 月 19:00

東京芸術劇場

◆ 12月26日 火 19:00

東京芸術劇場

◆ 12月27日 水 19:00

東京芸術劇場

オルガン: 石丸由佳

ソプラノ: 小川菜奈 (12/21-25)、市原 愛 (12/26, 27)

アルト: 山下牧子

テノール: 錦織 健 (12/21-25)、笛田博昭 (12/26, 27)

バリトン: 大沼 徹 (12/21, 25)、青戸 知 (12/22)、

青山 貴 (12/26, 27)

合唱: 東京音楽大学 (12/21, 22)、武蔵野合唱団 (12/25)、

日本フィルハーモニー協会合唱団 (12/26, 27)

J.S. バッハ: 高き天よりわれは来たり BWV738

主よ、人の望みの喜びよ BWV147

トッカータとフーガ BWV565

(以上 3 曲 オルガン独奏)

ベートーヴェン: 交響曲第9番《合唱》



人、音楽、自然——日本フィルのテーマです。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA

——創立指揮者 渡邊 暁雄——

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

第391回

横浜定期演奏会

391st YOKOHAMA Subscription Concert

2023年10月21日(土) 午後5時開演

横浜みなとみらいホール

5:00pm October 21st (Sat.), 2023, at Yokohama Minato Mirai Hall



主催: 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援: 神奈川新聞社、+vkk、シンガポール共和国大使館

協力: 横浜みなとみらいホール

助成: 文化庁文化芸術振興費補助金 (舞台芸術等総合支援事業 (創造団体支援))

独立行政法人日本芸術文化振興会



文化庁

カーチュン・ウォン 首席指揮者就任

© Ayane Sato



今日は皆様にお目にかかれて本当に光栄です。
9月から日本フィルハーモニー交響楽団の新たな
首席指揮者としてスタートいたしました。

任命を受けたことに名誉と責任を感じ、これから
真摯に取り組んでまいります。舞台上で挑む
オーケストラとの気迫ある音楽作りは私の任務と
して、これからも作曲家と聴衆の皆さまに捧げ続
けてまいります。

今後の日本フィルに、どうぞご期待ください。

Kahchun WONG

今後の演奏会

指揮:カーチュン・ウォン [首席指揮者]

第392回 横浜定期演奏会

2023年11月25日(土) 17:00
横浜みなとみらいホール

第248回 芸劇シリーズ

2023年11月26日(日) 14:00
東京芸術劇場

ピアノ: 福間洸太郎

小山清茂: 管弦楽のための木挽歌

プロコフィエフ: ピアノ協奏曲第3番

チャイコフスキー: 交響曲第6番《悲愴》

第756回 東京定期演奏会

2023年12月8日(金) 19:00、9日(土) 14:00
サントリーホール

マリンバ: 池上英樹

外山雄三: 交響詩《まつら》

伊福部昭: オーケストラとマリンバのための

《ラウダ・コンチェルトタータ》

ショスタコーヴィチ: 交響曲第5番

第394回 横浜定期演奏会

2024年1月20日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

第403回 名曲コンサート

2024年1月21日(日) 14:00 サントリーホール

ピアノ: 上原彩子

伊福部昭: 舞踊曲《サロメ》より「7つのヴェールの踊り」

ラフマニノフ: バガニエーニの主題による狂詩曲

ベルリオーズ: 幻想交響曲

第757回 東京定期演奏会

2024年1月26日(金) 19:00、27日(土) 14:00
サントリーホール

ピアノ: 児玉麻里、児玉桃

チナリー・ウン: グランド・スパイラル

コリン・マクフィー: タブー・タブーアン

ブーランク: 2台のピアノのための協奏曲

ドビュッシー: 交響詩《海》

第760回 東京定期演奏会

2024年5月10日(金) 19:00、11日(土) 14:00
サントリーホール

マーラー: 交響曲第9番

〈1番〉に込められた青春の叫び —大注目の亀井聖矢とカーチュンとの共演

ソリストの亀井聖矢は2022年11月に開催されたロン＝ティボー＝クレスパン国際コンクールにて第1位を受賞(併せて「聴衆賞」「評論家賞」の2つの特別賞を受賞)した、今大注目の若手ピアニストです。彼の鋭敏な感性から繰り出されるショパンの調べを存分にご堪能ください。後半には壮大なブラームスの交響曲第1番をお楽しみいただきます。オーケストラにとって「マスターピース」と言えるこの作品に、指揮者カーチュンがどのようなアプローチをしてくれるのか、今から私たちも楽しみです。うねるような弦楽器、アルプスの山々を感じさせる崇高な管楽器の響き等々、聴きどころ満載のブラームスとなること間違いなしです。

Programs

ショパン:

ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11 (約40分)

Frédéric CHOPIN: Concerto for Piano and Orchestra No.1 in E-minor, op.11

——— 休憩 (15 分) Intermission ———

ブラームス:

交響曲第1番 ハ短調 op.68 (約45分)

Johannes BRAHMS: Symphony No.1 in C-minor, op.68

指揮: **カーチュン・ウォン** [首席指揮者]

Conductor: Kahchun WONG, Chief Conductor

ピアノ: **亀井聖矢**

Piano: KAMEI Masaya

コンサートマスター: **扇谷泰朋** [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: OGITANI Yasutomo, JPO Solo Concertmaster

ソロ・チェロ: **菊地知也** [日本フィル・ソロ・チェロ]

Solo Violoncello: KIKUCHI Tomoya, JPO Solo Violoncello

© Angie Kremer



指揮：
カーチュン・ウォン
〔首席指揮者〕

今秋より日本フィルハーモニー交響楽団 首席指揮者およびドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団 首席客演指揮者に、2024 年 9 月より英国マンチェスターに本拠を置くハレ管弦楽団首席指揮者兼アーティスティック・アドバイザーへの就任が決定しているシンガポール出身のカーチュン・ウォンは 2016 年グスタフ・マーラー国際指揮者コンクールで優勝、その名を世界に知られることとなる。

2022 年 8 月までニュルンベルク交響楽団首席指揮者を務め、これまでに、ニューヨーク・フィルハーモニック、ロサンゼルス・フィルハーモニック、クリーヴランド管弦楽団、ベルリン・コンツェルトハウス管弦楽団、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団を含む国内外の主要楽団との共演も果たす。

2019 年、33 歳という若さでシンガポールとドイツの文化交流並びにドイツ音楽文化の海外普及における献身的な取り組みと顕著な功績により、シンガポール出身の芸術家として初めてドイツ連邦大統領より功労勲章を与えられた。

2021 年 12 月の日本フィルハーモニー交響楽団東京定期演奏会で演奏されたマーラー交響曲第 5 番のライブ録音 CD が日本コロムビアよりリリースされている。



← YouTube チャンネル
【5分でわかる大人のためのオーケストラ入門】
今月のイチオシ

この演奏会では、目の不自由なお客様のために点字プログラムをご用意しております。ご希望の方は主催受付までお申し出ください。



感染予防の
ご案内

お客様へのお願い ●演奏中はお手持ちの時計のアラーム、または携帯電話などの電源はお切りください。手荷物、傘、チラシ類などの物音、話し声や体の動きなどで他のお客様のご迷惑にならないようご配慮をお願い申し上げます。尚、録音、録画、演奏中の写真撮影は固くお断りしております。

© Yuji Ueno



ピアノ：亀井聖矢

2022 年、ロン＝ティボー国際音楽コンクールにて第 1 位を受賞。併せて「聴衆賞」「評論家賞」の 2 つの特別賞を受賞。

2001 年生まれ。4 歳よりピアノを始める。2019 年、第 88 回日本音楽コンクールピアノ部門第 1 位、及び聴衆賞受賞。同年、第 43 回ピティナ・ピアノコンペティション特級グランプリ、及び聴衆賞受賞。

2022 年、マリア・カナルス国際ピアノコンクール第 3 位受賞。ヴァン・クライバーン国際ピアノコンクールセミファイナリスト。

これまでに、N 響、読響、東響、東京フィル、日本フィル、新日本フィル、東京シティフィル、大響、関西フィル、京響、名古屋フィル、セントラル愛知、札響、OEK と共演。『世界一受けたい授業』『日曜日の初耳学』『題名のない音楽会』などメディア出演も多数。

これまでに、青木真由子、杉浦日出夫、上野久子、岡本美智子、長谷正一の各氏に師事。作曲を鈴木輝昭氏に師事。愛知県立明和高等学校音楽科を経て、飛び入学特待生として桐朋学園大学に入学し、2023 年 3 月に同大学を首席で卒業。2023 年には、文化庁長官表彰（国際芸術部門）、出光音楽賞、岐阜県芸術文化奨励賞、愛知県芸術文化選奨文化新人賞を受賞。一般財団法人藤本育英財団元奨学生。2021～2022 年度公益財団法人ロームミュージックファンデーション奨学生。第 51 回公益財団法人江副記念リクルート財団奨学生。



今日のコンサートの聴きどころは？

ヨーロッパ文化史研究家小宮正安さんの
面白解説をお楽しみください！

16時20分
より
大ホール内
にて♪



小宮正安（こみや まさやす）●ヨーロッパ文化史・ドイツ文学研究家。横浜国立大学（大学院都市イノベーション学府・都市科学部）教授。著書に『コンスタンツェ・モーツァルト（悪妻）伝説の虚実』（講談社選書メチエ）、『名曲誕生 時代が生んだクラシック音楽』（山川出版社）、『音楽史 影の仕掛人』『オーケストラの文明史 ヨーロッパ 3000 年の夢』（春秋社）、『モーツァルトを「造った」男 ケツヘルと同時代のウィーン』（講談社現代新書）、『愉悦の蒐集 ヴンダーカンマーの謎』（集英社新書）など多数。『ウィーンフィル・ニューイヤーコンサート』でのコメンテーターをはじめテレビやラジオへの出演、『東京・春・音楽祭』でのナビゲーターなど、幅広い分野で活躍している。

ショパン：ピアノ協奏曲第1番 ホ短調 op.11

フレデリック・ショパン (1810-1849) は 1829 年と 30 年、つまり 19 歳および 20 歳のときにピアノ協奏曲を 1 曲ずつ書き上げた。1 曲目がヘ短調作品 21、2 曲目がホ短調作品 11 で、やがて前者を第 2 番、後者を第 1 番と呼ぶ習慣が定着した。

この協奏曲を書き上げたとき、20 歳のショパンはまだポーランドにいたが、ほどなくして故国を離れ、広くヨーロッパに活躍の場所を広げることとなった。当協奏曲も、ポーランド出発の約 1 ヶ月前にワルシャワで、ショパン自らのピアノ独奏によって初演されている (1830 年 10 月)。しかもこれがショパンのポーランドに対する告別演奏会となってしまう、その後ポーランドを取り巻く政変の中で、彼が生きて再び故郷の土を踏むことはなくなってしまった。

作曲当時のショパンは若い歌手のコンスタンツィア・グワドコフスカという女性に恋をしており、その想いが全曲を染め抜いている、というのが定説である。古今のピアノ・コンチェルトの中でもこれほどまでに濃い青春の情感をしたたらせ、切ない憧れの火照りをおびたものはない。ショパン以前にも、たとえば彼が少年時代に聴いて心ひかれたフンメルのピアノ協奏曲のように、ロマンティックな情緒をそなえたピアノ協奏曲は 19 世紀に入ると幾つも見られるようになった。しかし、ショパンの 2 つの協奏曲は一見似たような手法に基づき、古典な形式をとりつつも、次元の違った音楽になっている。

第 1 楽章：アレグロ・マエストーソ、ホ短調、4 分の 3 拍子、協奏風のソナタ形式。

第 2 楽章：ロマンツェ ラルゲット、ホ長調、4 分の 4 拍子、三部形式。

第 3 楽章：ロンド ヴィヴァーチェ、ホ長調、4 分の 2 拍子。

楽器編成 独奏ピアノ、フルート 2、オーボエ 2、クラリネット 2、ファゴット 2、ホルン 4、トランペット 2、バス・トロンボーン 1、ティンパニ 1、弦楽 5 部。

ブラームス：交響曲第1番 ハ短調 op.68

ベートーヴェンの「不滅の 9 曲」の交響曲に並ぶ大作として親しまれている、ヨハネス・ブラームス (1833-1897) の交響曲第 1 番。完成までに、実に 20 年の歳月が費やされた大作である。

ブラームスは 22 歳の 1855 年、私淑していた先達であるシューマンの《マンフレッド》序曲を聴き、その感動が交響曲第 1 番への長い道のりを歩ませるきっかけとなった。このとき作られたスケッチは数曲あり、そのうちのひとつは『ピアノ協奏曲第 1 番』に、また他のものは『ドイツ・レクイエム』に、そして残されたものが、1862 年に交響曲の第 1

楽章として書き上げられる (ただしこの時点ではまだ、苦渋にみちた長大な序奏部はつけられていなかった)。

それから幾星霜を経た後、この草稿をもとに 12 年後の 1874 年に本格的に着手、2 年後の 1876 年によりやく全曲完成の運びとなった。初演は同年 11 月 4 日、カールスルーエの宮廷劇場でオットー・デッソフの指揮によって行われ、その後マンハイム、ミュンヘン、ウィーンでブラームス自身の指揮により演奏されると同時に、細部に関してはさらなる改訂が加えられていった。

このような慎重さを経て成立した交響曲第 1 番は、「ベートーヴェンの第 10 番」とも名付けられ、ロマン主義全盛時代のドイツ音楽界に古典的美学を吹き込んだ作品として絶賛される。ただしブラームスの姿勢は、単なる先祖返りや、伝統への固執とは一線を画している。彼はベートーヴェンに代表されるドイツ音楽の流れに大きな敬意を払いながらも、やはり時代の子としてロマン主義的な情熱や憧れを注ぎ込み、文字通り交響曲というジャンルに新たな地平を切り開いたのだった。

第 1 楽章：ウン・ポーコ・ソステヌート〜アレグロ、ハ短調、8 分の 6 拍子、ソナタ形式。荘重かつ悲劇的な緊張感に溢れた序奏に始まる (なお序奏の冒頭に現れる半音階的動機 (ドード#ーレ) は、全曲を通じて出現し、曲全体を密接につなぎ合わせる重要な役割を担う)。序奏の動機を基にした力強い第 1 主題と、やはり序奏の動機を素材としながら平和な印象を与える第 2 主題により、全体は未曾有の緊張感の中に展開していく。

第 2 楽章：アンダンテ・ソステヌート、ホ長調、4 分の 3 拍子、複合三部形式。わびしさを宿しながらも気品のある光が射し込める緩徐楽章。冒頭に出現するホルンの柔らかな歌を、楽章の後半になると独奏ヴァイオリンの切ない響きが受け継ぐ。

第 3 楽章：ウン・ポーコ・アレグレット・エ・グラツィオーソ、変イ長調、4 分の 2 拍子、複合三部形式。ロ長調のトリオを中間に置く三部形式。クラリネットによる翳りを帯びた牧歌的な主題に始まるが、途中でワルツのような熱狂や、それとは対照的な厳粛な響きが次々と入れ替わる、間奏曲的な楽章だ。

第 4 楽章：アダージョ〜ピウ・アンダンテ〜アレグロ・ノン・トロppo・マ・コン・ブリオ、ハ短調〜ハ長調、4 分の 4 拍子、ソナタ形式。第 1 楽章の悲劇性をさらに色濃くしたかのように始まる序奏部は、やがて希望に満ちた楽想へと移行する。主部に入ると、ベートーヴェンの「第九」を彷彿させる旋律に導かれて音楽は高揚し続け、最後には全オーケストラによる輝かしい凱歌が出現する。20 年以上にわたり温め続けた交響曲に対する、ブラームスの自信のほどがうかがえる。

楽器編成 フルート 2、オーボエ 2、クラリネット 2、ファゴット 2、コントラファゴット 1、ホルン 4、トランペット 2、トロンボーン 2、バス・トロンボーン 1、ティンパニ 1、弦楽 5 部。



Column

歴史でひもとく! ~クラシックこぼれ話 by 小宮正安



『第1番』の呪い!?

プログラム・ノートでも書いたように、ブラームスは『交響曲第1番』を完成させるまでに、20年以上の歳月を要した。

そもそもの着想は20歳台、その後紆余曲折を経て40歳台になった際によく書きあげたわけだが、当時の平均寿命が50歳そこそこだったことを考えると、人生を賭した一大事業だったことは間違いない。しかもその間、元々優男だったブラームスの風貌は、それなりにでっぴりした(ただし肖像画や写真でお馴染みの厳めしい髭はまだたくわえていない)へと一変していた。

逆に言えば、そこまで『交響曲第1番』を書きあぐねた作曲家は珍しいということだろう。彼が尊敬していたベートーヴェンが1番目となる交響曲を書いたのは30歳前。先達のハイドン、さらには神童だったモーツァルトに比べるとかなり遅いタイミングだが、少なくともブラームスのように「書きあぐねた」ということはない。

ではブラームスがなぜそこまで、『交響曲第1番』の完成にこぎつたかと言えば、ベートーヴェン(さらには尊敬していたシューマン)の後に、新たな交響曲を書くとはどのような意味があるのかについて、彼がひたすら自問自答を繰り返したため。いや、交響曲1つに限らない。協奏曲にしても何にしても、彼にとってオーケストラ曲を書くこと自体が、偉大な先達が打ち立てた、特に偉大な分野に足を踏み入れる行為に他ならなかった。

こうして、第1番目の交響曲を書き進めることは、ブラームスにとって大きな憧れであると同時に、極度のプレッシャーとなる。結果、全曲完成の暁には、既に40歳台半ばに手が届こうか、という頃になってしまっていた。

だが曲を聴けば分かるが、完成時期こそ中年に達していても、そこに滾るのは若き日のブラームスの雄叫びである。滾るような情熱、実らぬ恋への想い…。それらは文字通り、若き日のショパンが書いた『ピアノ協奏曲第1番』と相通じる世界ではなかったか? そうした意味で『交響曲第1番』は、若き日のブラームスの象徴に他ならない。



20歳頃のブラームス (1853年)



『交響曲第1番』を完成させた頃のブラームス (1876年)

Next YOKOHAMA

第392回 横浜定期演奏会

オーケストラ・ガイド 16:20 ~
次回は八木宏之さん(音楽ライター)

~目眩く展開されるドラマをカーチュン・ウォンの指揮で~

2023年11月25日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

指揮:カーチュン・ウォン [首席指揮者]

ピアノ:福岡光太郎

小山清茂:管弦楽のための木挽歌

プロコフィエフ:

ピアノ協奏曲第3番 ハ長調 op.26

チャイコフスキー:

交響曲第6番《悲愴》ロ短調 op.74

© Ande Kemner



カーチュン・ウォン



© T. Shimura

福岡光太郎

※当初の予定から変更になりました

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C ¥5,000 P 完売 Ys (25歳以下) ¥1,500

※ Ys 席はS席以外から選べます。

※障害者手帳をお持ちの方は、サービスセンターへお問い合わせください。

好評発売中!

ニューイヤーコンサート2024 第252回 芸劇シリーズ

2024年1月14日(日) 14:00

東京芸術劇場

指揮:川瀬賢太郎

ピアノ:清水和音

チャイコフスキー:

歌劇《エフゲニー・オネーギン》より「ボロネーズ」

チャイコフスキー:ピアノ協奏曲第1番 変ロ短調 op.23

J. ショトラウスⅡ世:ポルカ《ハンガリー万歳》op.332

ブラームス:ハンガリー舞曲第5番

J. ショトラウスⅡ世:ワルツ《南国のバラ》op.388

レスピーギ:リュートのための古風な舞曲とアリアより「シチリアーナ」

J. ショトラウスⅡ世:喜歌劇《こうもり》序曲

© Mana Miki



清水和音



© Yoshimori Kurosawa

川瀬賢太郎

S ¥7,000 A ¥5,500 B ¥5,000 C ¥4,000 Gs (65歳以上) ¥4,000 Ys (25歳以下) ¥1,500

Ys (ヤング・シート)、Gs (グランド・シート) はS席以外からお選びいただけます。

■新入団のお知らせ

2023年9月11日にティンパニ・セクションに池田健太が入団いたしました。今後の活躍にご期待ください。

■テレビ番組レギュラー出演のお知らせ

日本フィルがBSに。指揮者が語るミニ番組!『Welcome クラシック』BS朝日 毎週水曜日 22:54~23:00 (第3週、第4週は再放送)。12月からは広上淳一、カーチュン・ウォンが登場。ぜひご覧ください!

■本日の公演は終演時のカーテンコールでの写真撮影が可能です。

携帯電話・スマートフォン付属のカメラで着席のまま撮影をお願いいたします。フラッシュ、動画撮影はお控えください。詳しくは会場の掲示をご覧ください。

6月第761回東京定期演奏会、第398回横浜定期演奏会、第405回名曲コンサート 出演者及びプログラム決定

第761回東京定期演奏会

2024年6月7日(金) 19:00、8日(土) 14:00 サントリーホール

指揮: 秋山和慶

ホルン: 信末碩才 [首席奏者]

ベルク: 管弦楽のための3つの小品

R.シュトラウス: ホルン協奏曲第2番

ドヴォルジャーク: 交響曲第7番

第398回横浜定期演奏会

2024年6月15日(土) 17:00 横浜みなとみらいホール

第405回名曲コンサート

2024年6月16日(日) 14:00 サントリーホール

指揮: 小林研一郎 [桂冠名誉指揮者]

ピアノ: エリソ・ヴィルサラーゼ

ベートーヴェン: ピアノ協奏曲第5番《皇帝》

ベートーヴェン: 交響曲第6番《田園》

にじくら 〜トークと笑顔と、音楽と 第3回

2024年2月2日(金) 14:00 サントリーホール

指揮: 大井剛史 ピアノ: 小林愛実 ナビゲーター: 高橋克典

モーツァルト: ピアノ協奏曲第9番 変ホ長調 K.271「ジュノム」

ドビュッシー (カブレ編曲): 『子供の領分』 フォーレ (ラポー編曲): 組曲『ドリー』作品56

◆定期会員券ご寄付のお願い◆

お客様の都合により、定期演奏会にご来場いただけなくなった時は、是非日本フィルにチケットをご寄付ください。有効に活用させていただきます。

【ご寄付の方法】

ご寄付いただける会員券の公演日・座席数・座席番号を日本フィル・サービスセンターにお電話かFAX、メールにてご連絡の上、会員券をご郵送ください。主催会場でも受け付けます。

●公演1週間前のご寄付に関しては、会員券のご郵送は不要です。●会員券のご郵送代はお客様にてご負担いただきます様ご協力をお願いいたします。●ご寄付いただいた定期会員のお客様には、ご寄付いただきました公演月のプログラム冊子を後日ご郵送いたします。また、翌月または翌々月のプログラムにご芳名を掲載させていただきますので、掲載をご希望されないお客様はご連絡をお願いいたします。

横浜定期演奏会の定期会員券をお譲りいただきました。心より御礼申し上げます。

9月の寄付者 匿名5名

敬称略・五十音順

日本フィル・サービスセンター

〒166-0011 東京都杉並区梅里1-6-1

TEL: 03-5378-5911 (平日10時~17時)

FAX: 03-5378-6161 (24時間)

e-mail: order-ticket@japanphil.or.jp

「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員の特典

横浜ベイホテル東急 (横浜みなとみらいホール向かい) にて、メンバーズ優待を行っております。

飲食: 下記店舗で、飲食料金が10%OFFとなります。(4名様まで) ※除日外および対象外メニューあり

オールディダイニング「カフェ トスカ」/ラウンジ「ソマーハウス」/日本料理「大志満」
中国料理「スーツァンレストラン陳」

※会計時に「ミュージックポート ヨコハマ・シリーズ」定期会員券をご提示ください。※この割引は日本フィルのコンサート開催日以外にも有効です。※指定以外の店舗、および宴会は対象外ですご了承ください。※他の特典・割引との併用はいたしかねます。

公益財団法人 日本フィルハーモニー交響楽団 (1956年6月創立)

●創立指揮者/渡邊曉雄

●桂冠名誉指揮者/小林研一郎

●名誉指揮者/ルカーチ・エルヴィン

●名誉指揮者/ジェームズ・ロッドラン

●客員首席指揮者/ネーメ・ヤルヴィ

●首席指揮者/カーチュン・ウォン

●桂冠指揮者兼芸術顧問/アレクサンドル・ラザレフ

●フレンド・オブ・JPO (芸術顧問) /広上淳一

公式X (元 Twitter)
@Japanphil



ソロ・コンサートマスター

扇谷泰朋
木野雅之
田野倉雅秋

アシスタント・
コンサートマスター
千葉清加

第1ヴァイオリン
伊藤太郎
太田麻衣
九鬼明子

齋藤政和
榊 渚
竹歳夏鈴

谷崎大起
田村昭博
中谷郁子

西村優子
平井幸子
本田純一

第2ヴァイオリン
遠藤直子
大貫聖子
岡田紗弓

加藤祐一
○神尾あずさ
川口 貴

佐藤駿一郎
末廣紗弓
町田 匡

松川葉月
山田千秋
ヴィオラ

☆安達真理
○江藤史織
小俣由佳

小中澤基道
児仁井かおり
高橋智史

中川裕美子
中溝とも子
松澤雅奈

原川翔太郎
丸山 勉
村中美菜

ソロ・チェロ

門脇大樹
菊地知也

チェロ
石崎美雨
伊堂寺 聡

江原 望
大澤哲弥
久保公人

山田智樹
コントラバス
鈴木優介

○高山智仁
成澤美紀
○宮坂典幸

森田麻友美
山口雅之
フルート

齋藤光晴
難波 薫
○真鍋恵子

オーボエ
佐竹真登
○杉原由希子

○松岡裕雅
クラリネット
○伊藤寛隆

○楠木 慶
照沼夢輝
堂面宏起

ファゴット
大内秀介
○鈴木一志

○岡吉佑久子
中川日出鷹
ホルン

伊藤 舜
宇田紀夫
○信末碩才

原川翔太郎
丸山 勉
村中美菜

ソロ・トランペット

オッタビアーノ・
クリストフオリ
トランペット

大飼伸紀
○大西敏幸
中里州宏

中務朋子
星野 究
トロンボーン

○伊藤雄太
笠間勇登
バス・トロンボーン

中根幹太
チューバ
柳生和大

ティンパニ
○池田健太
○エリック・バケラ

パーカッション
大河原 渉
ハープ

松井久子
楽団長
中根幹太

チーフステージマネージャー
阿部紋子
ステージスタッフ

長橋健太
森田大翔
チーフインスペクター

佐藤駿一郎
インスペクター
宇田紀夫

鈴木優介
ライブラリアン
鬼頭さやか

杉本哲也
○首席奏者
○副首席奏者

☆客演首席奏者
□試用期間
理 事 長 (代表理事)

平井俊邦

副理事長 (代表理事)
五味康昌

専務理事 (代表理事)
福井英次

常務理事 (代表理事)
後藤朋俊

常務理事 (代表理事)
中根幹太

理 事
石井啓一郎
遠藤 滋

佐々木経世
田村浩章
戸所邦弘

福本ともみ
監 事
上條貞夫

福澤宏哉
評議員会会長
加藤丈夫

評議員
青井 浩
安孫子 正

荒時康一郎
石塚邦雄
石村 等

稲垣 尚
内川清雄
大塚宣夫

海堀周造
梶浦卓一
河北博文

喜多崇介
木村恵司
久保田 隆

小林研一郎
島田精一
津田義久

西澤 豊
野間省伸
葉田順治

村上典史子
山口多賀幸

名誉顧問

熊谷直彦
島田晴雄
田邊 稔

アドバイザリー・ボード
大島 剛
小野敏夫

小網忠明
後藤 茂
武田隆男

田邊 稔
溝口文雄
コミュニケーション・ディレクター

マイケル・スペンサー
マネジメント・スタッフ
浅見浩司

磯部一史
江原陽子
及川ひろか

小川紗智子
荻島里帆
賀澤美和

柏熊由紀子
小須田明
佐々木文雄

澤田智夫
篠崎めぐみ
清水佑香子

杉山綾子
杉山まどか
高橋勇人

田中正彦
槌谷祐子
中村沙緒里

西田大輔
長谷川珠子
藤田千明

別府一樹
益満行裕
宗澤晶子

山岸淳子
吉岡浩子
シニア・パートナー

新井康久
伊波 睦
永島義郎

南部洋一

団 友

青柳哲夫
青山 均
赤堀泰江

新井豊治
石井啓一郎
伊藤恒男

伊波 睦
遠藤 功
遠藤剛史

大石 修
大川内 弘
大味 修

寛 美知子
金本順子
蒲谷隆行

川口和宏
岸良開城
吉川利幸

木村正伸
小林俊夫
小山 清

斎藤千種
佐々木裕司
菅原 光

高木裕子
高木雄司
高木 洋

高倉理実
田沢 烈
立川和男

堂阪俊子
富樫尚代
豊田尚生

中川二郎
永田健一
中務幸彦

奈切敏郎
橋本 洋
畑井紀代子

平賀法子
福島喜裕
松本克己

松本伸二
三本克郎
宮武良平

三好明子
森 茂
山下進三

山科淑子
山本辰夫
渡辺哲雄